

宝地区ゴミ減量化対策

推進委員会設立

宝地区が都留市のゴミ減量化対策モデル地区に選定されました。

一月二十三日、宝地区の自治会長、各種団体長と有志の方々が構成された対策委員会を設立しました。

これは、毎日出るゴミを自分たちの力でなんとか減量しようと、再生利用できる紙やアルミ缶などのリサイクルを実践して、

限りある資源の有効利用を推進して行こうというものです。推進委員会が中心となって地域の環境問題に取り組み、行政と地域が一体となり、事業の充実を図ることを申し合わせました。

【委員会役員】

委員長

小林建二

宝地域コミュニケーションセンター

運営委員長

副委員長

渡辺かおる

宝地区婦人会長

高部大六

老人クラブ各会長

委員

宝地区各自治会長

婦人会役員

老人クラブ各会長

育成会各会長

(宝連会長)

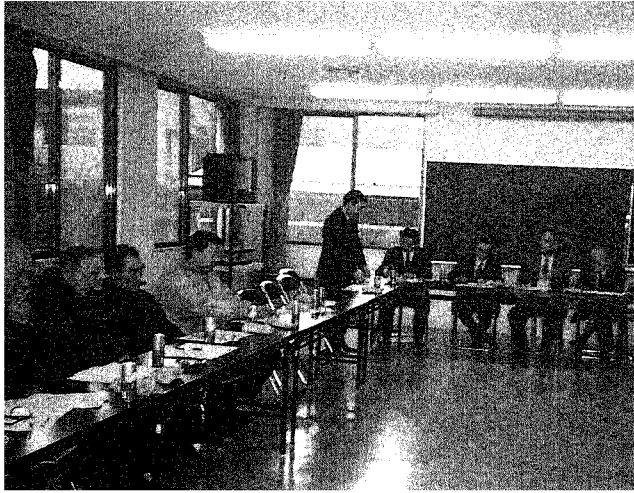
宝小学校長

P T A 会長

センター運営委員

都留二中 P T A 副

会長



郷土出身作家

鳴山草平の著書・遺稿収集にご協力を!!



鳴山草平(本名前田好照)は、明治三十五年、都留市中津森に生まれ、昭和十年代から四十年代にかけて、盛んな創作活動を続け、多くの人々に愛される数々の名作を残されました。

鳴山草平の作品は、歴史小説をはじめ、きんびら先生シリーズ、出張社員シリーズなど広い分野に

わたるもので、国立国会図書館には、七十六冊に及ぶ著作が蔵書されています。時に、「極楽剣法」、「きんびら先生青春記」、「敵ちゃん先生行状記」などは、映画化され、そのユーモアと機知に富む作風は、戦中戦後の暗い時代の中の

全国の人々に、明るい希望を与えてくれたものとして高く評価されています。氏の作品については、昨年十二月号広報「つる」に、国文学研究の立場から、都留文科大学の関口安義教授が、作品収集への熱望をこめて紹介されています。また、郷土出身の作家研究にご熱心な市

民の皆さんからも作品収集への要望が高まっています。

この機会に、都留文科大附属図書館では、鳴山草平の著書や遺稿を収集し、一堂に集め、郷土出身作家の研究を進めるとともに、その作品を末永く保存したいと願っています。

多くの市民の皆さんに、この計画にご賛同いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。同氏の著書や遺稿をお持ちの方からのご一報をお待ちしています。連絡先 都留文科大附属図書館

☎(43)4341
内線601~604

小学校用教科書を展示しています



市立図書館では、県教育委員会より保管・展示を依頼された平成4年度から7年度にかけて使用される全科目・全教科の小学校用教科書を展示しています。

学校教育関係者の方々とはもとより、日頃教科書に目を触れる機会が少ない皆さまにも、ご覧いただきますよう、ご来館をお待ちしています。

なお、展示しています教科書の種類・点数は、次の表のとおりです。

種目	種類数	点数	種目	種類数	点数
国語	6	72	音楽	4	24
書写	6	36	図画工作	4	24
社会	8	64	家庭	2	4
地算	2	2	保健	6	6
理科	6	66			
生活	7	49			
	12	24	合計	63	371
					20者